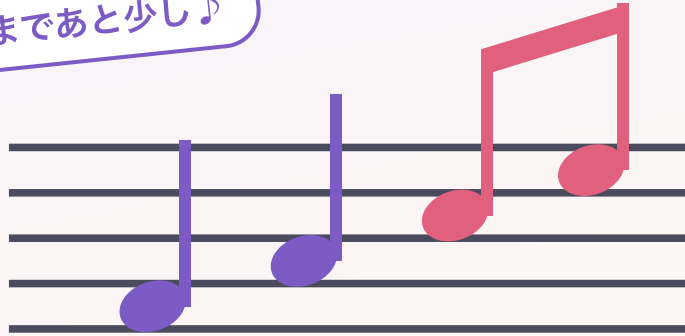


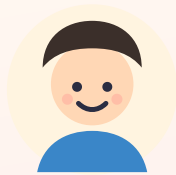
完成まであと少し♪



1曲つくりきろう！

1曲完成させよう

これまで学んだことを、1つの作品に仕上げよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

曲の骨組みをつくる	3～9
仕上げていく	10～15
発表しよう	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

作曲の計画を立てる

はじめに全体の流れを決めると、迷わず進められます。

ここまでの教材で学んだ、リズム・コード・歌詞・形式・アレンジ・録音の力を使って、1曲を完成させましょう。
一気に完成させようとせず、順番に1つずつ積み上げていくのがコツです。



ポイント

- 「テーマ→形式→メロディ→歌詞→仕上げ」の順に進めると、迷いにくくなります。
- 完ぺきを目指しすぎず、まずは最後までつくりきることを目標にしましょう。

やってみよう

- この教材が終わるまでに、曲を仕上げるおおまかな計画を立ててみよう。

ワンポイント 途中で行き詰まったら、前の教材のページにもどって確認してみましょう。

書いて覚えよう

ふるさと

身近で具体的なテーマほど、あとの工程が進めやすくなります。

- テーマが決まると、メロディの雰囲気や歌詞の方向性も見えてきます。

1. 自分の曲のテーマを1つ決めよう。

曲の形式を決める・コード進行を決める

設計図（形式）と、響きの土台（コード）を決めましょう。

決めること

例

形式

一部形式／二部形式（A-B）／三部形式（A-B-A）

コード進行

I・IV・Vの進行／カノン進行／王道進行

ポイント

- 初めてつくるなら、シンプルな二部形式と、基本のI・IV・Vの進行から始めるのがおすすめです。

やってみよう

- 自分の曲の形式とコード進行を決めよう。

書いて覚えよう

コードの音を手がかりに、メロディを考えましょう。

A musical staff showing the first four notes of the Japanese scale: ド (D), ミ (E), ソ (F), and ファ (G). The notes are represented by purple circles on a five-line staff. The first note is a quarter note on the first line (D), the second is a quarter note on the second line (E), the third is a quarter note on the third line (F), and the fourth is a half note on the third space (G).

6

テーマと気持ちを、言葉にのせていきましょう。

- テーマを、気持ちの言葉と情景の言葉、両方を使って表してみましょう。
- 音数（言葉の音の数）を、メロディの音の数に合わせることも忘れずに。

1. Aメロの歌詞を、1～2行だけ書いてみよう。

ワンポイント うまい言葉より先に、自分の気持ちに正直な言葉を書き出すことが大切です。

メロディに、はずみや表情をつけましょう。

タン タ タ ウン

ポイント

- ## やってみよう

1. 自分のメロディに、休符を1か所入れてみよう。

書いて覚えよう

コードを鳴らし方に工夫して、伴奏をつけましょう。

ポイント

- やってみよう

- 書いて覚えよう

曲全体の雰囲気を、もう一段仕上げましょう。

ここまで決めたメロディやコードを生かしながら、全体の色をつけていきます。

1. 自分の曲に合いそうな楽器を1つ選んでみよう。

楽譜にまとめる

つくった曲を、形として書き残しましょう。

ポイント

- すべてを五線譜にしなくても、メロディとコードのメモだけでも記録になります。
- 書き残しておくと、時間がたっても同じように演奏し直せます。

やってみよう

1. 自分の曲のメロディとコードを、簡単なメモにまとめよう。

書いて覚えよう

曲の形が見えてきたら、録音してみましょう。

- 静かな場所を選び、試し録りで音量を確認してから本番の録音をしましょう。
- 1回で完ぺきを目指さず、何度か録って良いものを選びましょう。

やってみよう

1. 今の段階の曲を、一度録音してみよう。

書いて覚えよう

よくあること

1か所だけ変化をつける

音数を調整する

こうしてみよう

印象に残る

歌いやすくなる

1. 録音を聴き直して、直したいところを1つ見つけよう。

13



自分の曲を人に聴かせるのは、ちょっと緊張するな。



大丈夫。良いところをまず見つけてもらえるから、安心して聴かせてみて。

- 聴いてもらうときは、まず最後まで聴いてもらってから、感想をもらいましょう。

1. 家族や友だちに、今の段階の曲を聴いてもらおう。

感想をもらう

もらった感想は、仕上げのヒントになります。

ポイント

- 感想は、すべてを取り入れなくても大丈夫。自分が納得できるものだけ生かしましょう。
- 良いと言われたところは、自信を持って残しましょう。

やってみよう

1. もらった感想の中で、いちばん心に残った言葉を書こう。

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|--------------|---------|
| ☐ | メロディを最後まで歌える | 曲の完成 |
| ☐ | 歌詞が音数と合っている | 歌いやすさ |
| ☐ | タイトルが決まっている | 作品としての形 |
| ☐ | 録音して聴き直した | 客観的な確認 |

1. チェックがつかなかった項目を、1つ直してみよう。

発表の準備

発表に向けて、伝えることを整理しましょう。

曲名

テーマ

使った形式・進行

いちばんの聴きどころ

Ken の例

曲名 自転車で坂を／テーマ 部活帰りの夕方／使った形式・進行 二部形式・Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ／いちばんの聴きどころ サビで速さが少し上がるところ

ポイント

- 何を工夫したかを一言で伝えられると、聴き手にも魅力が伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

作品の発表・次の曲へ

完成した作品を発表し、次の一歩につなげましょう。

Emma

1曲まるごとつくりきるのは、大変だったけど楽しかったね。



Ken

次はどんな曲をつくろうか、もう考え始めてる！

ポイント

- 1曲完成させた経験は、次の曲づくりの自信になります。
- うまいかなかったところも、次に生かせる大切な学びです。

やってみよう

1. 完成した曲を、家族や友だちに発表しよう。

書いて覚えよう

やってみよう・みんなで練習

作品をお互いに聴き合い、感想を伝え合いましょう。

A

(曲を聴かせる)

B

(良いところを伝える)

A

(工夫を説明する)

B

(感想を伝える)

ポイント

- Aが自分の曲を紹介し、Bが良いところを中心に感想を伝える練習です。
- 感想を伝えるときは、否定より先に、良いところを見つけましょう。

ワンポイント 友だちの作品も、自分の作品と同じように大切に聴きましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

途中で行き詰まる

完璧を求めすぎる

最後まで仕上げられない

1度にやろうとする

人に聴かせるのが恥ずかしい

評価を気にしすぎる

コツ

こうしてみよう

前の教材にもどって確認

1つずつ思い出す

1日1工程ずつ進める

少しずつでOK

まず身近な人に聴かせる

小さく発表する

ポイント

- できないところは、無理をせず、少しずつ前に進めていきましょう。

やってみよう

1. あなたが曲づくりでつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

決めること

☐ テーマ

曲で伝えたい中心の内容

☐ 形式

メロディの組み立て方

☐ コード進行

コードの並び方

つくる工程

☐ メロディ

音の高さの流れ

☐ 歌詞

メロディにのせる言葉

☐ 伴奏

メロディを支える演奏

仕上げ

☐ 録音

音をデータとして残すこと

☐ 聴き直し

録音を聴いて確認すること

☐ タイトル

曲の顔になる短い言葉

発表

☐ 感想

聴いた人からもらう意見

☐ 発表

作品を人に届けること

☐ 次の曲

新しい作曲への一歩

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、曲づくりの工程も説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

テーマ	●	● ア. 曲の顔になる短い言葉
形式	●	● イ. 曲で伝えたい中心の内容
伴奏	●	● ウ. 音をデータとして残すこと
録音	●	● エ. メロディを支える演奏
タイトル	●	● オ. メロディの組み立て方

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. コードの並び方を [] という。 _____
2. 曲の顔になる短い言葉を [] という。 _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 音の高さの流れ → (メロディ / 伴奏)
2. 作品を人に届けること → (発表 / 録音)

書いて覚えよう

- ## 書いて覚えよう

考えたメロディを口ずさむ

歌詞のアイデアを考える

サビだけ歌ってみる

楽器やアプリで音を確認する

今日進んだところをメモする

家族に今の曲を聴かせる

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

完成した1曲を、人に伝えてみよう。

曲名

テーマ

いちばんの工夫

聴いてほしい人

Emma の例

曲名 光のメロディ／テーマ 新しい季節への期待／いちばんの工夫 サビで転調して明るくした／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この曲は、～な作品に仕上がりました。② とくに、～のところを工夫しました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

曲づくりの旅は、ここからも続いていきます。

もっと知りたい人へ

動画で

他の人の作曲の様子を見る

図書館で

作曲や音楽理論の本を読む

発表会で

自分の作品を披露する

次のステップ

映画・ゲーム音楽

場面に合わせた曲づくりを知る

演奏

つくった曲を楽器で表現する

新しい曲

また1から曲づくりに挑戦する

ポイント

- この教材の次は「映画・ゲームの音楽」。場面に合わせた音楽づくりの世界が広がります。

書いて覚えよう

1曲完成させようチャレンジ

教室の外でも、曲づくりの種はすぐに見つかります。

見つけよう

心が動いた瞬間を1つ思い出す

ロずさもう

そこから短いメロディを考える

伝えよう

考えたメロディを家族に聴かせる

こたえ

L26 テーマ→イ 形式→オ 伴奏→エ 録音→ウ タイトル→ア 2. コード進行 / タイトル 3. メロディ / 発表

L33 (例) 1曲を完成させることは、小さな工程を積み重ねること。

書いて覚えよう

1曲完成させよう (Season 8 | No.80)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。